



平成28年3月期

# ソフト99コーポレーション

## 決算説明会

平成28年6月1日

- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

# I : 企業グループの概要

## 株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資 本 金	2,310,056,000円
代 表 者	代表取締役社長 田中 秀明
従業員数	196名 (平成28年 3月31日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

### 当社主要製品の歴史

1969年  
「ハンネリ」



1978年  
「ボデーペン」



1987年  
「Tinet」



1993年  
「めりめりガラコ」



1995年  
「99工房シリーズ」



1999年  
「フクピカwet」










2006年  
「メガネのシャンプー」



# 関係会社一覧



社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の 所有割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪市中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪市中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	役員の兼任
(株)ソフト99オートサービス 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都江東区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸
アライズ(株) 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)オレンジ・ジャパン 	東京都江東区	30百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任

# 事業セグメントの概要



ファインケミカル	カー用品（一般用・業務用）	(株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	上海速特九九化工有限公司
	TPMS企画・開発・販売	(株) オレンジ・ジャパン
ポーラスマテリアル	産業資材部門	アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	オートサービス事業	(株) ソフト99オートサービス
	教習事業	アスモ(株)
	生活用品企画販売事業	(株) 暮らし企画
不動産関連	不動産賃貸事業	(株) ソフト99コーポレーション
	温浴事業	
	介護予防支援事業	アライズ(株)

## Ⅱ：連結業績の概要

# 連結業績 (損益：対前年同期比較)

- 全セグメントの伸長により増収増益。
- 投資有価証券の売却益を特別利益として計上したことで、税金等調整前当期純利益は前年比58.2%の増益となった。

(単位：百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	21,343	22,052	+ 709	+ 3.3%
売上総利益	7,377	7,977	+ 600	+ 8.1%
売上総利益率	(34.6%)	(36.2%)	(+ 1.6P)	-
販売費及び一般管理費	5,627	5,726	+ 99	+ 1.8%
営業利益	1,750	2,250	+ 500	+ 28.6%
営業利益率	(8.2%)	(10.2%)	(+ 2.0P)	-
経常利益	1,943	2,439	+ 496	+ 25.5%
税金等調整前当期純利益	1,690	2,674	+ 984	+ 58.2%
当期純利益	943	1,774	+ 831	+ 88.2%

# 要約連結キャッシュフロー（対前年同期比較）

（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,097	2,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△442	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△429	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△0
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	1,228	1,985
現金及び現金同等物の期首残高	10,835	12,063
現金及び現金同等物の期末残高	12,063	14,049
減価償却費	736	692
設備投資額（※）	333	444

（※）有形固定資産の取得による支出



# 要約連結貸借対照表 (対前期末比較)



(単位：百万円)

	平成27年 3月末	平成28年 3月末	増減額		平成27年 3月末	平成28年 3月末	増減額
<b>流動資産</b>	<b>19,331</b>	<b>20,909</b>	+1,578	<b>流動負債</b>	<b>2,905</b>	<b>3,209</b>	+304
現金及び預金	12,494	14,493	+1,999	買入債務	996	1,002	+6
売上債権	3,165	3,452	+287	未払法人税等	339	628	+289
有価証券	899	200	▲699	未払金・未払費用	1,006	1,083	+77
棚卸資産	2,253	2,248	▲5	その他	562	495	▲67
その他	518	514	▲4	<b>固定負債</b>	<b>3,523</b>	<b>3,642</b>	+119
<b>固定資産</b>	<b>28,736</b>	<b>28,507</b>	▲229	<b>負債合計</b>	<b>6,428</b>	<b>6,851</b>	+423
有形固定資産	21,917	21,723	▲194	<b>純資産</b>	<b>41,639</b>	<b>42,565</b>	+926
無形固定資産	132	154	+22	株主資本	41,006	42,358	+1,352
投資その他の資産	6,685	6,628	▲57	その他包括利益累計額	633	206	▲427
<b>資産</b>	<b>48,068</b>	<b>49,417</b>	+1,349	<b>負債及び純資産</b>	<b>48,068</b>	<b>49,417</b>	+1,349

# 連結ハイライト指標 (対前年同期比較)



(単位：百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期	増減
総資産	48,068	49,417	+ 1,349
純資産	41,639	42,565	+ 926
自己資本比率 (%)	86.6%	86.1%	△0.5P
ROA (経常利益/総資産)	4.1%	4.9%	+ 0.8P
ROE (純利益/純資産)	2.3%	4.2%	+ 1.9P
1株当たり純利益 (円)	43.45	81.60	+ 38.15
1株当たり配当 (円)	17.00	18.00	+ 1.00
配当性向	39.1%	22.3%	△ 16.8P

# ファインケミカル（損益：対前年同期比較）



■国内向け販売の伸長で、市況悪化による海外販売の減少をカバーし増収増益。（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年比・増減額	対前年比・増減率
<b>売上高</b>	<b>10,346</b>	<b>10,690</b>	<b>+344</b>	<b>+3.3%</b>
（一般用：ボディケア）	(2,010)	(2,019)	(+9)	(+0.5%)
（一般用：ガラスケア）	(3,159)	(3,354)	(+195)	(+6.2%)
（一般用：リペアグッズ）	(2,188)	(2,212)	(+24)	(+1.1%)
（業務用）	(1,202)	(1,317)	(+114)	(+9.6%)
（家庭用品等）	(552)	(570)	(+18)	(+3.3%)
（海外事業）	(1,082)	(947)	(▲134)	(▲12.4%)
（TPMS）	(-)	(146)	(+146)	-
（その他）※樹脂容器販売を含む	(150)	(121)	(▲29)	(▲19.6%)
<b>売上総利益</b>	<b>4,743</b>	<b>5,059</b>	<b>+315</b>	<b>+6.7%</b>
粗利益率（%）	45.8%	47.3%	+1.5P	-
<b>営業利益</b>	<b>931</b>	<b>1,225</b>	<b>+294</b>	<b>+31.6%</b>
営業利益率（%）	9.0%	11.5%	+2.5P	-
<b>セグメント資産</b>	<b>11,626</b>	<b>12,048</b>	<b>+422</b>	<b>+3.6%</b>
セグメントROA（営業利益／セグメント資産）	8.0%	10.2%	+2.2P	-

# ポーラスマテリアル（損益：対前年同期比較）



- 産業資材分野では、停滞していた半導体市場の復調や高品質製品の提案により増収。
- 生活資材分野では、ファインケミカルの国内販売ルート活用が奏功し増収。

（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年比・増減額	対前年比・増減率
<b>売上高</b>	<b>4,640</b>	<b>4,909</b>	<b>+269</b>	<b>+5.8%</b>
(産業資材)	(3,373)	(3,546)	(+173)	(+5.1%)
(国内)	(1,702)	(1,763)	(+61)	(+3.6%)
(海外)	(1,671)	(1,783)	(+112)	(+6.7%)
(生活資材)	(1,266)	(1,364)	(+98)	(+7.7%)
(国内)	(491)	(615)	(+124)	(+25.3%)
(海外)	(775)	(749)	(▲26)	(▲3.4%)
<b>売上総利益</b>	<b>1,376</b>	<b>1,561</b>	<b>+185</b>	<b>+13.4%</b>
粗利益率 (%)	29.7%	31.8%	+2.1P	—
<b>営業利益</b>	<b>509</b>	<b>649</b>	<b>+140</b>	<b>+27.6%</b>
営業利益率 (%)	11.0%	13.2%	+2.3P	—
<b>セグメント資産</b>	<b>6,600</b>	<b>6,571</b>	<b>▲29</b>	<b>▲0.4%</b>
<b>セグメントROA</b> (営業利益/セグメント資産)	<b>7.7%</b>	<b>9.9%</b>	<b>+2.2P</b>	<b>—</b>

# サービス (損益：対前年同期比較)

- 自動車整備・钣金事業では、既存事業の維持に加え、新規サービスの上乗せで増収。
- 教習事業では、単価の高い大型車教習に注力した稼働で増収。
- 生活用品企画販売事業では、取扱い商品のヒットやWEB販売の好調で増収。

(単位：百万円)

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年比・増減額	対前年比・増減率
<b>売上高</b>	<b>4,896</b>	<b>4,983</b>	<b>+ 87</b>	<b>+ 1.8%</b>
(オートサービス)	(2,348)	(2,359)	(+ 11)	(+ 0.5%)
(自動車教習所)	(849)	(857)	(+ 8)	(+ 1.0%)
(生活用品企画販売)	(1,697)	(1,766)	(+ 68)	(+ 4.0%)
<b>売上総利益</b>	<b>994</b>	<b>1,059</b>	<b>+ 64</b>	<b>+ 6.5%</b>
粗利益率 (%)	20.3%	21.3%	+ 0.9P	-
<b>営業利益</b>	<b>76</b>	<b>102</b>	<b>+ 26</b>	<b>+ 34.0%</b>
営業利益率 (%)	1.6%	2.1%	+ 0.5P	-
<b>セグメント資産</b>	<b>3,983</b>	<b>3,916</b>	<b>▲ 67</b>	<b>▲ 1.7%</b>
セグメントROA (営業利益/セグメント資産)	1.9%	2.6%	+ 0.7P	-

# 不動産関連（損益：対前年同期比較）

- 不動産賃貸事業は、保有不動産の稼働向上で増収。
- 温浴事業では一部店舗で設備故障があったことで来店客数が減少し減収。

（単位：百万円）

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年比・増減額	対前年比・増減率
<b>売上高</b>	<b>1,460</b>	<b>1,468</b>	<b>+8</b>	<b>+0.6%</b>
(不動産賃貸)	(335)	(370)	(+34)	(+10.4%)
(温浴事業)	(1,121)	(1,074)	(▲46)	(▲4.2%)
(介護予防支援事業)	(3)	(23)	(+20)	(-)
<b>売上総利益</b>	<b>261</b>	<b>296</b>	<b>+34</b>	<b>+13.2%</b>
粗利益率(%)	17.9%	20.2%	+2.3P	-
<b>営業利益</b>	<b>221</b>	<b>260</b>	<b>+38</b>	<b>+17.6%</b>
営業利益率(%)	15.2%	17.7%	+2.5P	-
<b>セグメント資産</b>	<b>9,628</b>	<b>9,449</b>	<b>▲179</b>	<b>▲1.9%</b>
セグメントROA (営業利益/セグメント資産)	2.3%	2.8%	+0.5P	-

# セグメント情報 (セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位：百万円)

売上高	平成27年3月期 (全体構成比率)	平成28年3月期 (全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	10,346 (48.5%)	10,690 (48.5%)	+ 0.0P
ポーラスマテリアル	4,640 (21.7%)	4,909 (22.3%)	+ 0.6P
サービス・不動産関連	6,356 (29.8%)	6,452 (29.2%)	△ 0.6P
合計	21,343 (100.0%)	22,052 (100.0%)	—

営業利益	平成27年3月期 (全体構成比率)	平成28年3月期 (全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	931 (53.1%)	1,225 (54.4%)	+ 1.3P
ポーラスマテリアル	509 (29.1%)	649 (28.8%)	△ 0.3P
サービス・不動産関連	298 (17.1%)	363 (16.1%)	△ 1.0P
(※) 合計	1,750 (100.0%)	2,250 (100.0%)	—

(※) 合計には調整額を含んでおります。

## Ⅲ：経営目標および成果と課題



# 中期経営計画の概要



## ■中期経営計画「SOFT99 Drive」(平成26年4月1日～平成29年3月31日)

経営理念 : 生活文化創造企業

経営ビジョン : 未来の『あたりまえ』を発見する

『あたりまえ』とは…一過性のブームで終わらない、お客さまに長く愛される、いつもお客様のそばにある製品やサービス  
『発見』とは…ハイテク製品ではなく、日常生活からお客様に支持されるような製品やサービス

### 経営基本方針

1

成熟市場に向けた、新しい高付加価値製品・サービスを提供

2

成長市場に積極的に参入し、事業の拡大をはかる

3

未来の『あたりまえ』を発見するため、  
新技術・サービスノウハウの蓄積と新用途開発の推進

4

社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す

# 中期経営計画の進捗

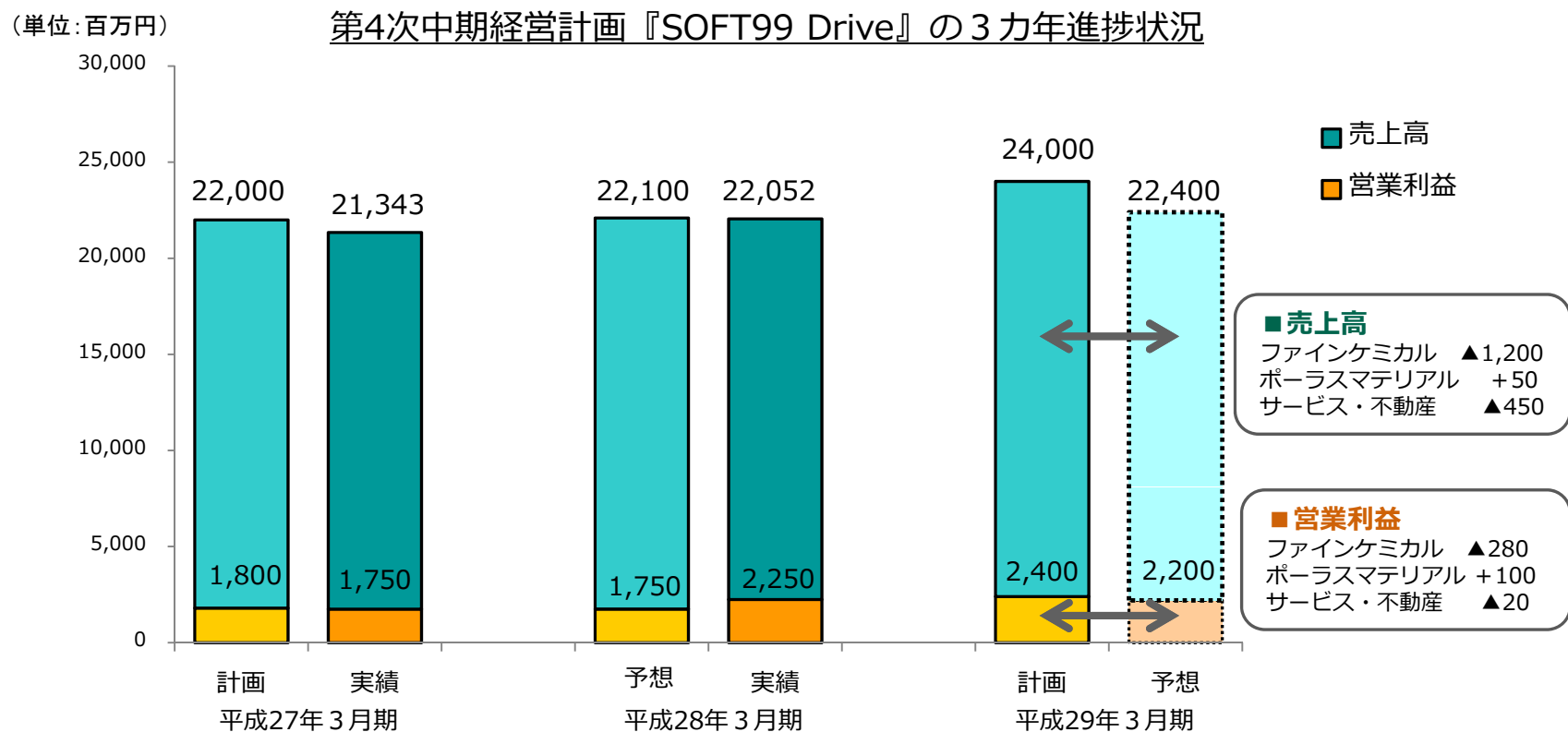


## 実績

売上高は2期ともに計画を下回った。営業利益は平成28年3月期は達成。

## 最終年度業績予想

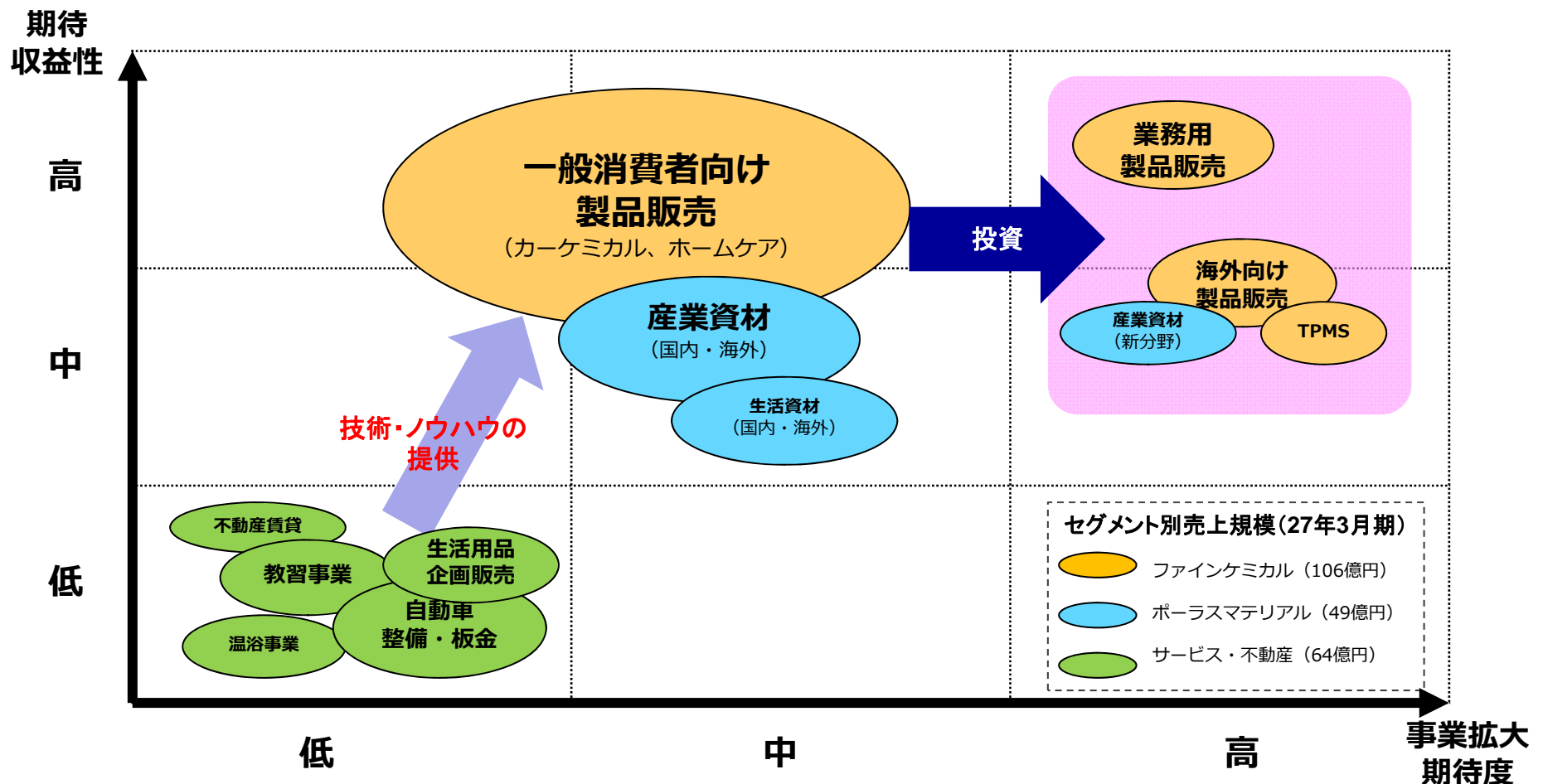
売上高、営業利益ともに当初計画を下回る。



# 中期経営計画 重要課題



■ ファインケミカル・ポーラスマテリアルの拡大可能性が高い分野への注力が課題



## ファインケミカルの成果

### 成熟市場

- ① 撥水剤の新製品継続投入とワイパー導入店舗拡大によりガラスケア製品の販売増加
- ② 消費者のニーズを掘り起こす営業活動で成果
- ③ 業務用自動車コーティング剤の販売増加
- ④ メガネケア製品の周辺製品拡大で販売増加

### 成長市場

- ⑤ 海外仕向け地の地域別ニーズに応える製品の提供

# 中期経営計画の成果（ファインケミカル 2/6）

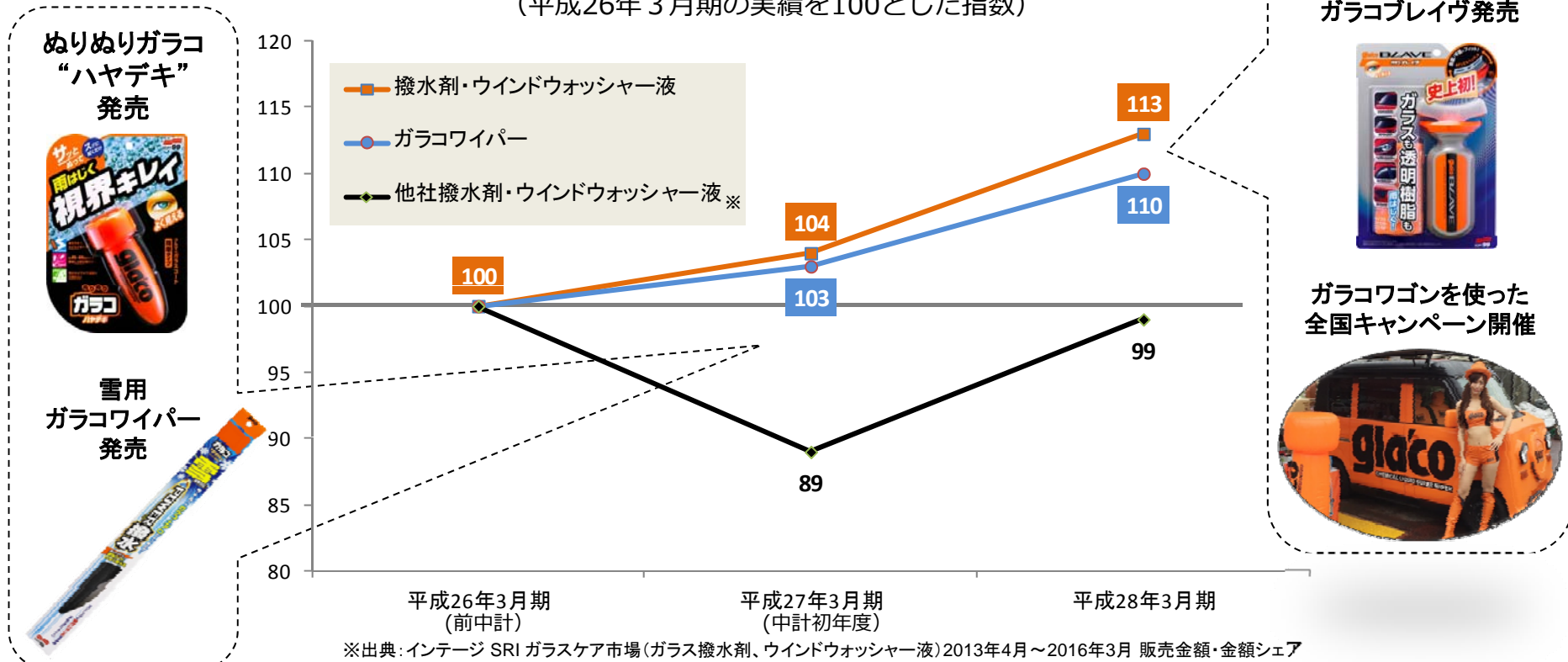


## ① 撥水剤の新製品継続投入とワイパー導入店舗拡大により ガラスケア製品の販売増加

成熟市場

### 売上の推移

（平成26年3月期の実績を100とした指数）



ぬりぬりガラコ  
“ハヤデキ”  
発売

雪用  
ガラコワイパー  
発売

樹脂にも対応  
ガラコプレイヴ発売

ガラコワゴンを使った  
全国キャンペーン開催

※出典：インテージ SRI ガラスケア市場（ガラス撥水剤、ウインドウォッシャー液）2013年4月～2016年3月 販売金額・金額シェア

# 中期経営計画の成果（ファインケミカル 3/6）



## ②消費者のニーズを掘り起こす営業活動で成果

成熟市場



ヘッドライト・リフレッシュ  
ライト・ワン  
(平成19年10月発売)

□ヘッドライトの黄ばみを落としたいという  
需要の掘り起こし

□実車のバンパーを用いた売り場づくり



(平成26年3月期→平成28年3月期)  
**出荷数量 20%増加**

# 中期経営計画の成果（ファインケミカル 4/6）

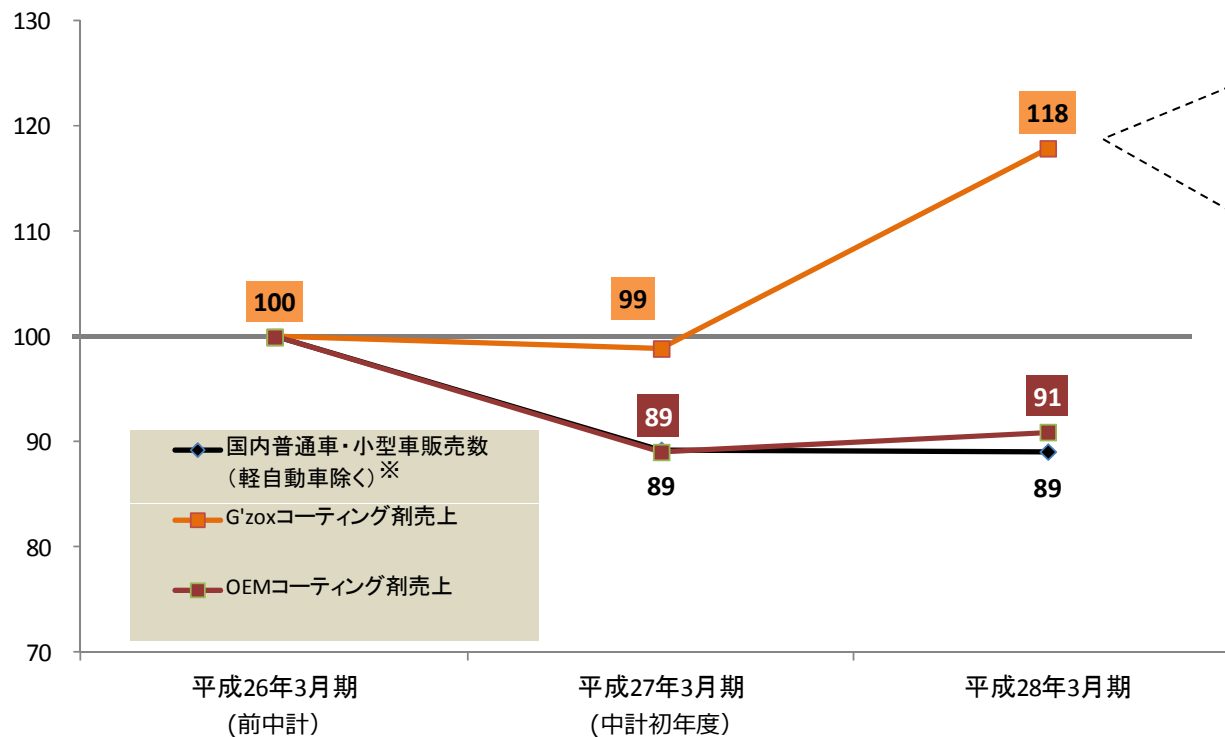


## ③業務用自動車コーティング剤の販売増加

成熟市場

### 業務用コーティング製品の売上推移

（平成26年3月期の実績を100とした指数）



自社ブランド『G'zox』  
シリーズ製品の販売拡大



※出典：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会ホームページ



# 中期経営計画の成果（ファインケミカル 5/6）

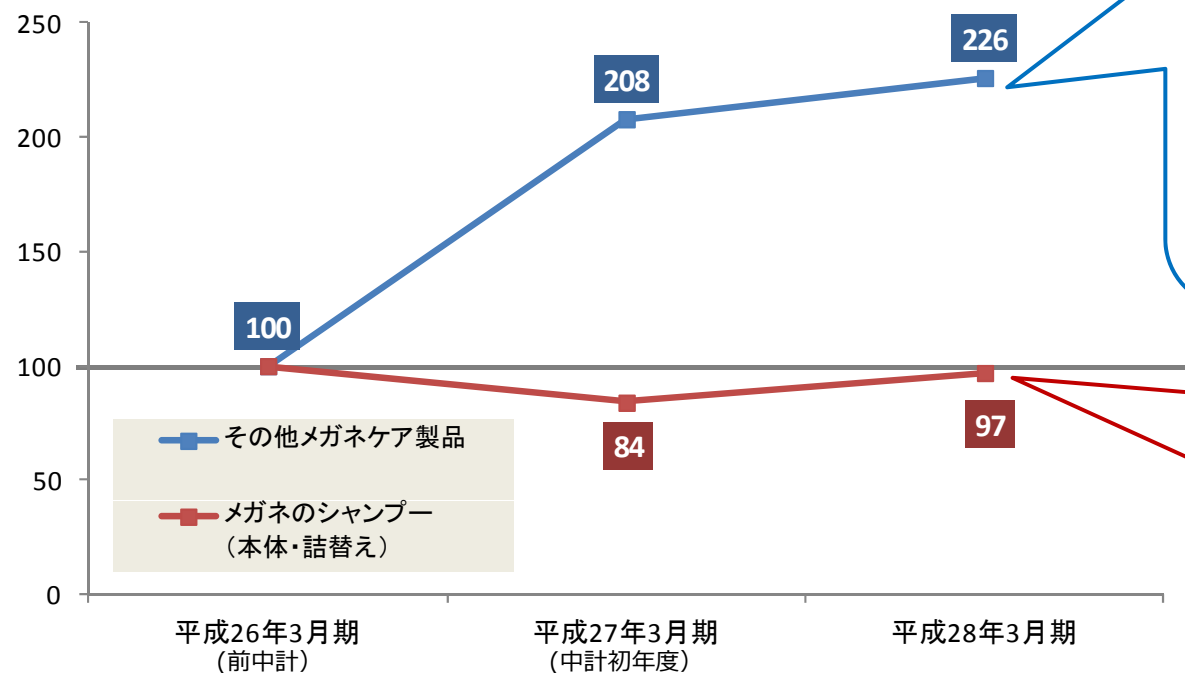


## ④メガネケア製品の周辺製品拡大で販売増加

成熟市場

### メガネケア関連製品の出荷量推移

(平成26年3月期の実績を100とした指数)



シャンプー周辺製品の投入により、  
関連購買強化+メガネケア市場底上げ



主力製品『メガネのシャンプー』





# 中期経営計画の成果（ファインケミカル 6/6）



## ⑤海外仕向け地の地域別ニーズに応える製品の提供

成長市場

■ロシア  
高付加価値製品へのシフト

■アジア各国（中国・韓国・タイ）  
現地語パッケージ製品の投入

■イギリス  
「年間防水」が  
英国自動車週刊誌Auto Expressの  
2015 Best Waxトップ3に選出



■ドイツ・ポーランド・  
ウクライナ・ブラジル

G'ZOX施工店の  
新規出店



# 現状の課題（ファインケミカル）

## ファインケミカルの課題

### 成熟市場

施策：自動車ボディお手入れ製品において大型新製品を投入し、シェア拡大をはかる。  
結果：新製品が市場を牽引する製品となるまで育たなかった。  
(消費者の嗜好変化/多様化に対応しきれなかった。)

ボディケア新製品の再投入により、主カシリーズラインナップ強化を図る。

### 成長市場

施策：既存仕向け地への販売強化および海外新興国への積極的な参入。  
結果：主要仕向け地のロシアおよび東南アジアへの販売が計画を下回った。  
(ルーブル安によるロシア市況悪化、原油安によるインドネシア・マレーシア経済停滞)

新規仕向け地の拡大と各地域向け専用品の展開を早め、  
安定した販売ボリュームの確保・拡大を目指す。

## ポーラスマテリアルの成果

### 成熟市場

- ① 半導体用途向け製品において、ニーズを先取りした高精度・高清浄度品の提案により出荷量が増加
- ② 家庭用・自動車用生活資材がファインケミカルとの協働で販売店舗拡大

### 成長市場

- ③ 全社的取り組みとして更なる新用途展開を目指し、NDC活動（New Demand Creation：新規需要創造）をスタート

# 中期経営計画の成果（ポーラスマテリアル2/4）

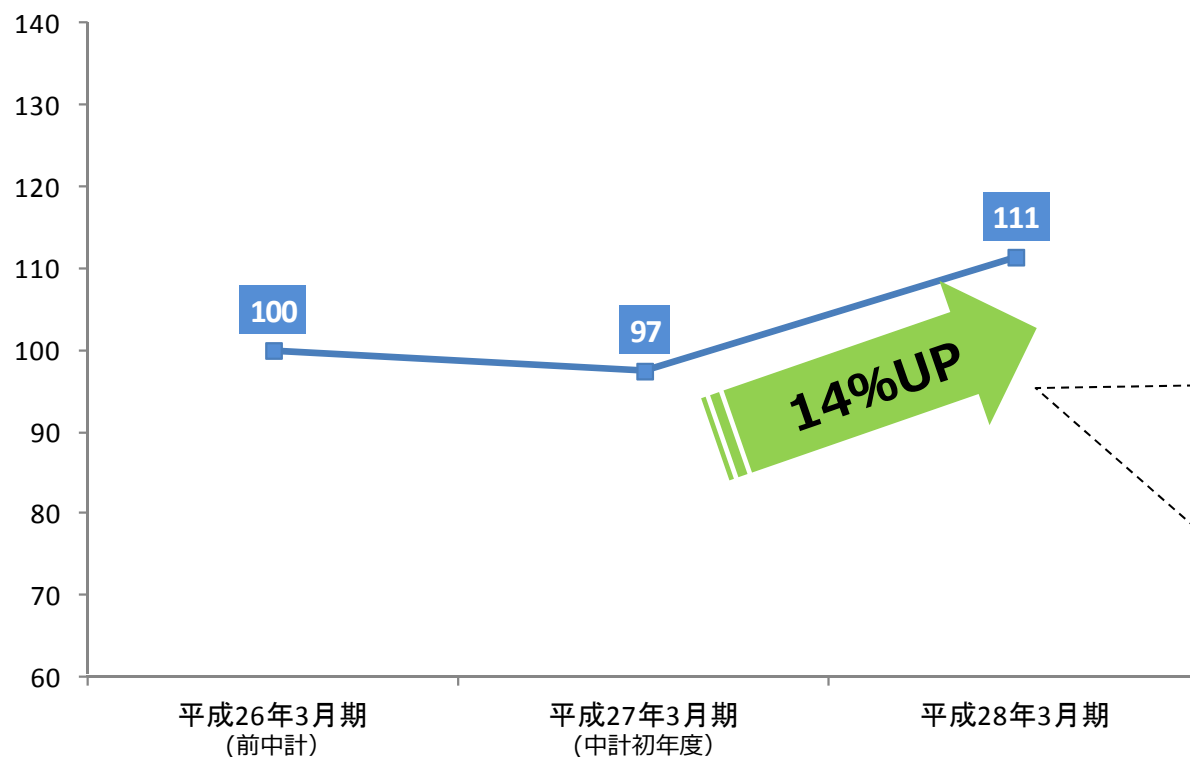


- ①半導体用途向け製品において、ニーズを先取りした高精度・高清浄度品の提案により出荷量が増加

成熟市場

## 半導体用途向け製品の売上推移

(平成26年3月期の実績を100とした指数)



中期経営計画 2期目の  
平成28年3月期より  
提案活動開始



# 中期経営計画の成果（ポーラスマテリアル3/4）



## ②家庭用・自動車用生活資材がファインケミカルとの協働で販売店舗拡大

成熟市場

### ■ 家庭用製品（ホームセンター・小売店）



### ■ 自動車用製品（カー用品専門店）



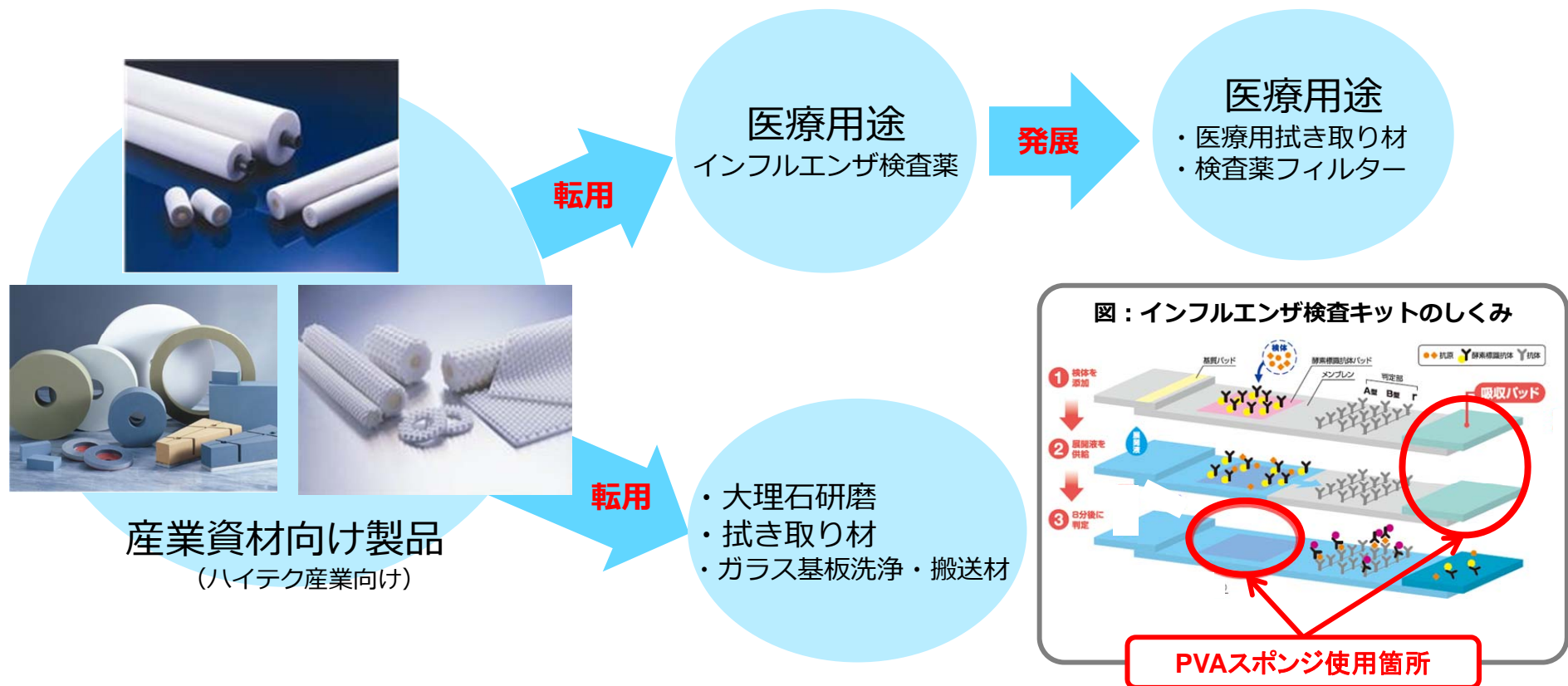


# 中期経営計画の成果（ポーラスマテリアル4/4）



③全社的取り組みとして、NDC活動（New Demand Creation：新規需要創造）をスタート

成長市場



# 現状の課題（ポーラスマテリアル）

## ポーラスマテリアルの課題

### 成熟市場

施策：HDD向け研磨材シェアの維持。

結果：当社製品の販売は維持しているものの、市場全体は予想以上の減速。  
（記憶媒体市場におけるSSDのシェア拡大スピードアップ。）

**HDD市場でのシェア維持に努めるとともに、  
ハイテク産業の次の柱となる分野の開拓を早急にすすめる。**

### 成長市場

施策：生活資材の海外新規市場（インド・中東・中南米）への展開

結果：海外新規市場への開拓は計画通りにすすまなかった。  
（中東・中南米での経済情勢悪化。）

**既存仕向け国への新製品を用いたアプローチに切り替え。**

# 中期経営計画 最終年度方針



## ファインケミカル

### 成熟市場

✓ボディケア製品において大型新製品の再投入を図り市場シェアを拡大

### 成長市場

✓海外現地市場に合致した製品の販売強化、新規仕向け先の販路開拓など  
市況の変化を柔軟な対応でカバー

消費者ニーズを的確に捉えるべく、開発体制を強化



## ポーラスマテリアル

### 成熟市場

✓ハイテク産業向け製品は、より高品質な製品の追求によりシェアを維持

### 成長市場

✓ハイテク産業の次の柱となる新分野の開拓  
✓既存仕向け先での用途開拓で販売拡大

営業・開発両面での新規用途開拓活動に注力

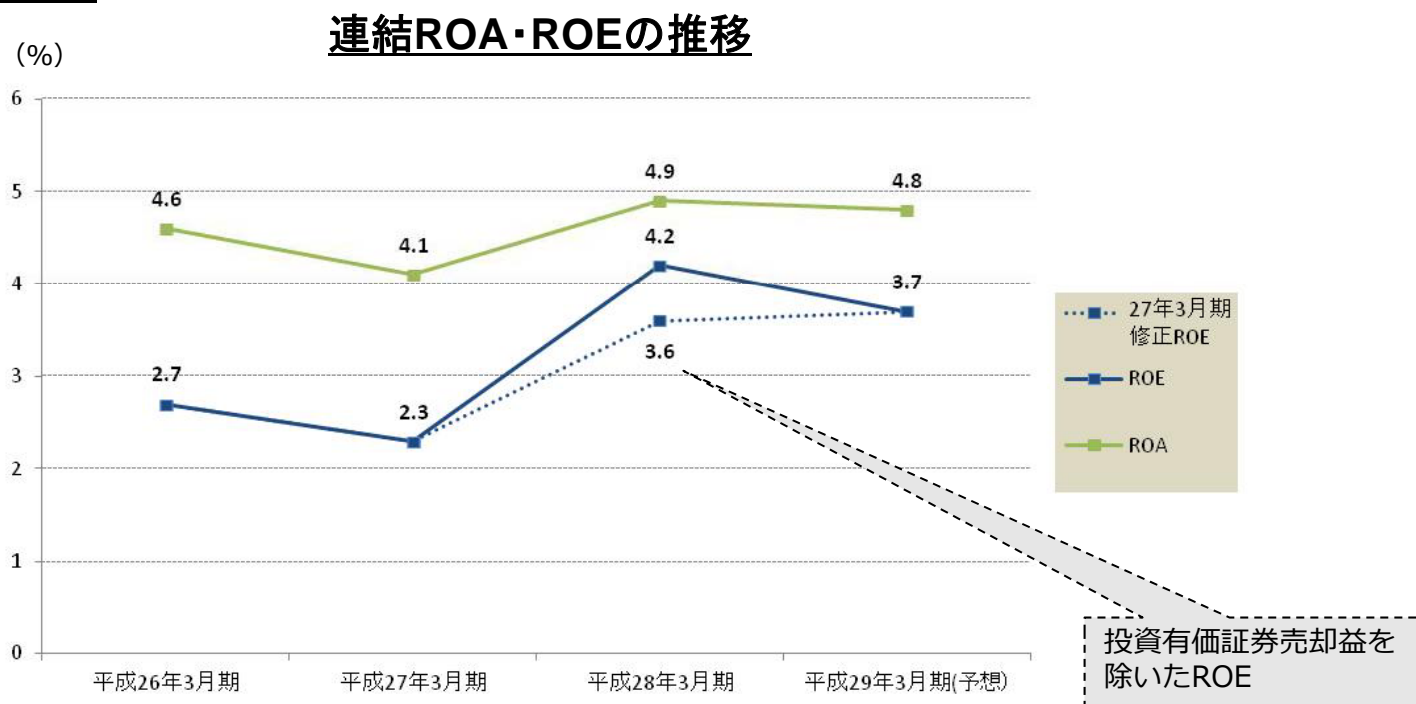


# 中期経営計画 その他の課題



## ■ 経営効率の改善

### 1. 連結経営指標



### 2. 余資の活用

- ✓ 新規事業への投資
- ✓ M&Aによる業容拡大に向けたファイナンスの継続

# 株主還元の方針

- ステークホルダーとの協調を目指し、安定的な配当の継続を基本方針とする。
- 配当性向については連結当期純利益の25%以上を目安とし、機動的な自己株式買付を加えることで総還元性向30%を目指す。
  - ✓平成27年11月6日～平成27年12月25日に、買付株式数108,500株・買付総額88,789,400円の自己株取得を実施。
  - ✓平成28年2月9日より自己株取得を実施中（平成28年9月30日まで、上限：100,000株、100百万円）
- 内部留保は、将来の事業拡大と経営体質強化に向けた投資への活用を想定する。

	平成28年3月期 (実績)	平成29年3月期 (予想)	増減
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,774	1,580	▲194
1株あたり当期純利益 (円)	81.60	72.64	▲8.96
1株あたり年間配当金 (円)	18.00	19.00	+1.00
年間配当額 (百万円) <small>※平成28年3月末の株主名簿を基礎として算出。</small>	395	414	+19
配当性向 (%) <small>連結ベース、年間配当額÷当期純利益</small>	22.3	26.2	+3.9
純資産配当率 (%)	0.9	0.9	+0.0

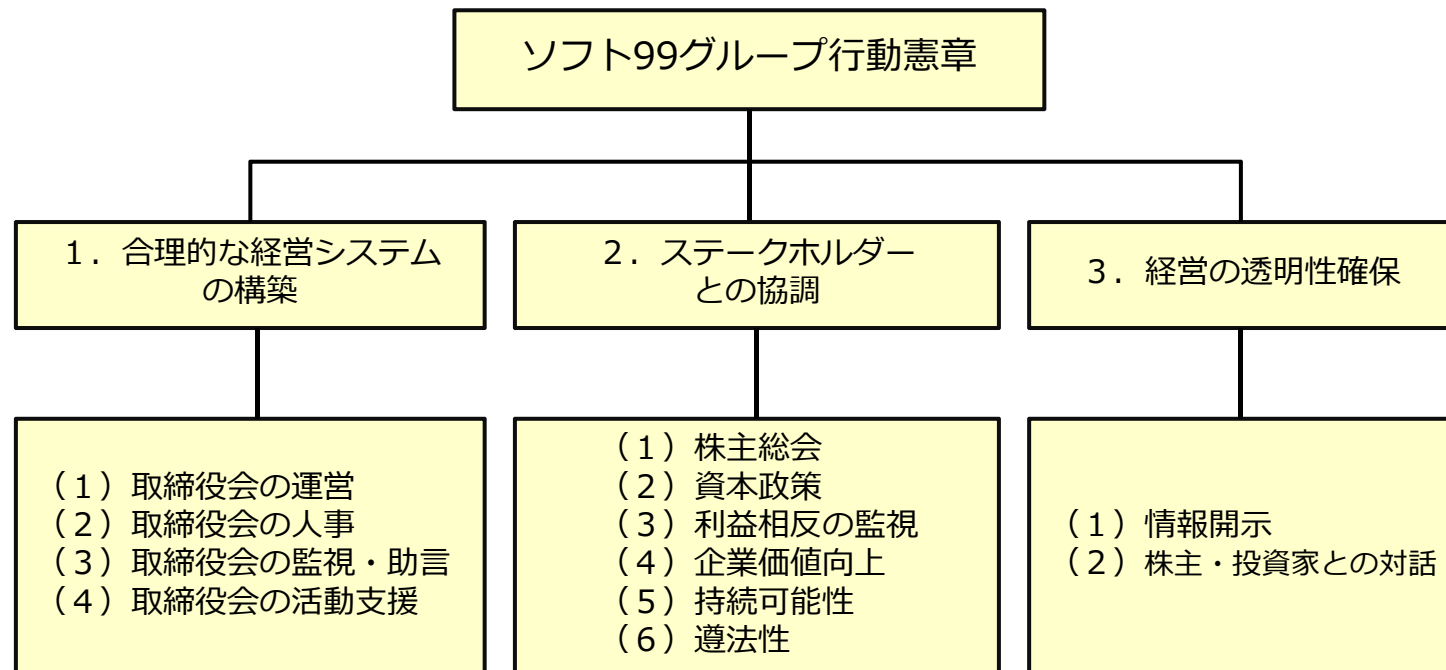
# コーポレート・ガバナンス



## ■SOFT99・コーポレート・ガバナンス・ポリシー

- 事業活動上の行動原則として定めた「ソフト99グループ行動憲章」に基づいたガバナンス強化
- 金融庁および東証の定めるコーポレート・ガバナンス・コードに対し3つのテーマを設定

1. 合理的な経営システムの構築 ～受託者責任を踏まえた取締役会運営～
2. ステークホルダーとの協調 ～各利害関係者との適切な協働関係構築～
3. 経営の透明性確保 ～説明責任を踏まえた適切なIR活動～



長時間に亘り、  
ご清聴ありがとうございました